



スケッチ文化宣言都市

GRILL & BARGER

宇都宮
州家

スケッチ文化都市宣言

小諸市は、豊かな自然と歴史的環境に恵まれた詩情公園都市です。

この詩情豊かで四季折々を通じた美しい景観や歴史的文化遺産を後世に引き継ぐことはもとより、市民や小諸を訪れる多くの人にこれらを「観る」「知る」だけでなく、「書く」「撮る」「創る」等の創作の場としての提供が望まれています。

あらゆる分野の創作に共通した表現文化の原点である「スケッチ」は、一人ひとりが持つ感性の表現方法であり、自己実現の手段であります。

小諸市は、「高原に育む活力ある詩情公園都市」であり多くの創作的活動を受け入れる環境とステージ(舞台)が整っており、市民のみならず小諸を訪れる多くの人に「スケッチ」の舞台として、市民が誇りを持って提供することを目指し、ここに「スケッチ文化都市」を宣言します。

(平成11年3月17日)

政府 基本方針

(一部抜粋)

「我々の目指す社会像は「自助・共助・公助、そして絆」であり、その認識の下、地方の活性化、人口減少、少子高齢化をはじめ山積する課題を克服していくことが、日本の活力につながるものと確信している。そのため、行政の縦割りや前例主義を打破して、既得権益にとらわれずに規制の改革を全力で進める「国民のために働く内閣」をつくり、国民の期待に応えていく。」

令和2年9月16日閣議決定

自助・互助・共助・公助

地域の社会福祉は、「自助・互助・共助・公助」の支えあいでも成り立っています。

自助 : 自分のことを自分ですることや健康管理など自分で行う支えあい

互助 : ボランティア活動による生きがい創りや住民同士の支えあい

共助 : 介護保険や生活支援など、社会保険制度による支えあい

公助 : 人権擁護や生活保護・高齢者福祉事業・福祉サービスなど、公の支えあい

(「社協情報こもろ」2015年5月号 小諸市社会福祉協議会 細谷会長就任ごあいさつより)